



# 月刊 千葉労働者

国鉄千葉動力車労働組合  
〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番  
96.10.9 No.4479

## 青年労働者を獲得しよう！

### 一〇・五動労千葉青年部 第一九回定期委員会開催

動労千葉青年部第一九回定期委員会が一〇月五日、動力車会館において開催されました。

寺本副青年部長の開会あいさつで始まった本委員会は、議長に木更津支部の荒井君を選出して進められました。

冒頭あいさつにたった関青年部長は、「山椒は小粒でもピリリと辛い、青年部は確かに人数は少なくなりましたが、闘う伝統を守り、「動労千葉・国労解体」方針を掲げて国鉄闘争に敵対するJR総連革マルの解体・一掃に向けて、日常的な組織拡大闘争にたちあがろう。とりわけ青年部は職場青年労働者の獲得を第一任務として確認し、全力をあげて取り組もう」と、組織攻防戦への決起を訴えました。

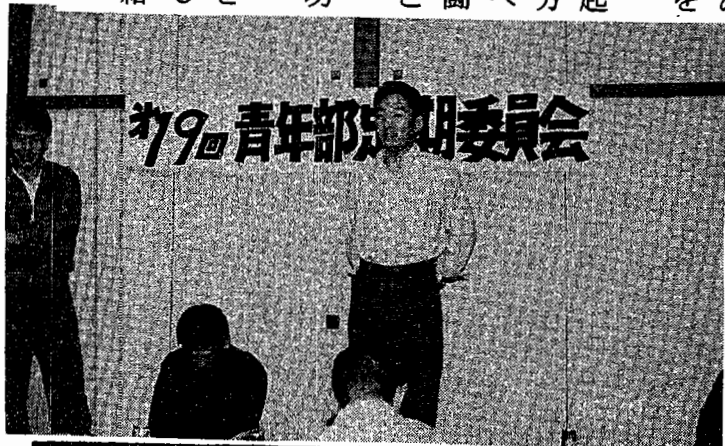
つづいて、本部から田中書記長が、「正念場の国鉄闘争勝利に向けた闘いの土台に「恒常的スト体制の堅持」という方針をすえ、組織破壊攻撃や不当な業務運営が行われた場合は、いつでもストライキに決起できる体制を継続・強化すること。実践

的焦点として、JR体制打倒！JR総連解体の闘いが一切を決するということを確認し、闘いの勝利に向けて、青年部が先頭に立って、全職場からJR総連解体・組織拡大の闘いに決起してほしい。また、重大な岐路にたつ解雇撤回の闘い、いよいよ矛盾を噴きだそうとしている大合理化との闘い、運転士の登用差別、強制配転等の攻撃との闘い。そして、国鉄闘争と安保・沖縄闘争の結合のなかから、労働運動の新しい潮流をつくりあげよう」と青年部の闘いに激をこめられました。

常任委員会からの議案の提起をうけ、当面一・一〇全国労働者総決起集会の五千名結集へ向け総決起することなど、戦闘的な方針、関青年部長を中心とする新役員体制を確立し、第一九回青年部定期委員会は大成功のうちに終了しました。

青年部は自分達の手で時代を切りひらくという決意と気概をもって、全青年部員の行動と団結を発揮して闘います！

これからの  
動労千葉を  
牽引する決  
意を訴える  
関青年部長



当面するスケジュール  
一〇月三日(日) 一二時

三里塚現地全国集会  
二一日(月) 一八時

一〇・二二反戦集会  
二七日(日) 一三時

沖縄と未来のための千葉県集会  
二八日(月) 一五時

勝浦運転区廃止事件地労委(田中)  
三〇日(水) 一三時三〇分

第一波公労法解雇公判和解  
三二日(木) 一六時

第二波公労法解雇公判和解  
一二月三日(日) 九時

動労千葉団結祭典  
一〇日(日) 一一時

安保・沖縄―国鉄闘争の勝利を  
めざす全国集会